

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 内田 章子		
健福-24	実施事業	在宅福祉サービスセンター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	快適な施設の環境の保持を図るため。
効果	在宅福祉サービスセンター利用者の利便性向上

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

地域の高齢者の介護に関する業務を行う二階堂、台在宅福祉サービスセンターの維持管理を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算		30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)当初予算		備考
	人口等のデータ	人口	176,466人	176,308人	人口	176,436人	
	世帯数	81,150世帯	81,763世帯	世帯数	82,444世帯		
運営資源状況	事業の対象者数			事業の対象者数			
	決算値(千円)	35,290	28,485	当初予算(千円)	35,358		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他	13,738	13,084	その他	14,643		
	一般財源	21,552	15,401	一般財源	20,715		
事業経費運営	人員配置数	1.3	1.3	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	10,300	10,272	人件費(千円)	7,941		
	総事業費(千円)	45,590	38,757	総事業費(千円)	43,299		
	市民1人当りの経費(円)	258	220	市民1人当りの経費(円)	245		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	4. 市民生活に寄与するが、担い手として、国・県・民間等での実施も可能
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 二階堂及び台在宅福祉サービスセンターの施設経年劣化のため、管理運営費用のうち、維持修繕に係る費用の割合が大きくなってきているため、今後も予算の確保が必要である。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	二階堂在宅福祉サービスセンターについては従来どおり管理運営を行い、台在宅福祉サービスセンターについては、口腔保健センター等に使用している市民健康課と連携して管理運営を行った。	

平成30年度(2018年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	施設の経年劣化により、管理運営面での修繕に係る割合が大きくなっている。 台在宅福祉サービスセンターの活用方法の変更を進める。	
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	公共建築物の定期点検の結果に基づき、経年劣化した厨房床、空調設備、非常電源など計画的な修繕の実施に努めると共に、付帯設備の部品の交換時期などにも速やかに対応した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	施設の経年劣化により、施設の修繕に係る割合が大きくなっているため、老朽化による躯体工事が必要となる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	維持修繕料(決算値)(H29までは3施設、H30から2施設)					単位	千円	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	目標値は予算額 決算値は四捨五入		
在宅福祉センターの維持修繕に係る費用の推移を見るため	目標値	10,286.0	8,100.0	7,500.0	6,500.0	3,600.0	6,572.0			
	実績値	9,338.0	4,948.0	3,340.0	2,918.0	1,908.0				
	達成率	90.8%	61.1%	44.5%	44.9%	53.0%				

指標の内容	管理運営費(決算値)(H29までは3施設、H30から2施設)					単位	千円	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	決算値は四捨五入		
在宅福祉センターの管理運営に係る費用の推移を見るため	目標値	38,777.0	38,017.0	37,180.0	38,424.0	28,013.0	28,786.0			
	実績値	37,465.0	35,305.0	32,517.0	32,372.0	26,445.0				
	達成率	96.6%	92.9%	87.5%	84.2%	94.4%				

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	H29年までは、台・二階堂・御成在宅サービスセンターの3施設。H30年からは、台・二階堂在宅サービスセンターの2施設である。毎年維持修繕料が多く、施設の経年劣化が進んでいる。また、管理運営費も年々増加していることから、改修工事の検討が必要となる。									
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--